

第 46 回

奈良血管疾患懇話会が

3月3日(土)に橿原ロイヤルホテルにて

開催されます。当院からは

血管外科センター長 今井 崇裕 先生が

学術発表されますので、ご紹介します。

第 46 回 奈良血管疾患懇話会 ご案内

謹啓 立春の候、先生方に置かれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、第 46 回の『奈良血管疾患懇話会』を下記のとおり開催させていただきます。当会は末梢動脈閉塞性疾患、動脈瘤、静脈血栓塞栓症などの血管疾患をはじめ、血管に関する難渋した症例、あるいは興味のある症例などを持ち寄り、気軽な討論を中心とした研究会にしたいと考えております。ぜひご参加頂き、先生の貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

奈良血管疾患懇話会

- ・奈良県西和医療センター
- ・井上クリニック
- ・奈良県立医科大学
- ・阪奈中央病院
- ・奈良県立医科大学
- ・松原徳洲会病院
- ・天理よろづ相談所病院
- ・奈良県西和医療センター
- ・奈良県立医科大学
- ・近畿大学医学部奈良病院
- ・奈良県総合医療センター
- ・市立奈良病院
- ・市立奈良病院
- ・森田内科・循環器科クリニック
- ・天理よろづ相談所病院
- ・奈良県立医科大学

幹事

- 放射線科 伊藤 博文
- 院長 井上 毅
- 循環器内科 岡山 悟志
- 名誉院長 川口 正一郎
- 放射線科・IVR センター 吉川 公彦
- 放射線科 阪口 昇二
- 放射線部診断部門 谷口 尚範
- 心臓血管外科 田村 大和
- 胸部・心臓血管外科 多林 伸起
- 心臓血管外科 長阪 重雄
- 心臓血管外科 仁科 健
- 循環器内科 堀井 学
- 四肢外傷センター 村田 景一
- 院長 森田 隆一
- 心臓血管外科 三和 千里
- 泌尿器科 米田 龍生

(敬称略 氏名五十音順)

日 時： 平成 30 年 3 月 3 日(土) 15:00～17:30

場 所： 橿原ロイヤルホテル 3F 「大原」

奈良県橿原市久米町652-2 TEL:0744-28-6636

第 46 回 当番幹事

奈良県総合医療センター 心臓血管外科 部長 仁科 健 先生

奈良血管疾患懇話会 事務局

奈良県立医科大学 放射線医学教室内

奈良県橿原市四条町 840TEL:0744-29-8900 FAX:0744-24-1988

共 催 奈良血管疾患懇話会、第一三共株式会社

～ プログラム ～

【情報提供】 15:00～15:10 経口FXa阻害剤 リクシアナ錠 について

【一般演題】 15:10～16:10

座長：天理よろづ相談所病院 心臓血管外科 三和 千里 先生

1. 『内膜亀裂を伴った膝窩動脈外膜嚢腫』

○矢田 匡、関根裕司、佐藤 俊、仁科 健

奈良県総合医療センター 心臓血管外科

2. 『腹部大動脈瘤 Y グラフト置換術後に発生した内腸骨動脈瘤に対して直接穿刺により遠位分枝塞栓を行った1例』

○岩越真一 1、中井貴大 1、吉山譲 1、田口秀彦 1、市橋成夫 1、廣瀬友亮 2、多林伸起 2、吉川公彦 1

1) 奈良県立医科大学 放射線科

2) 奈良県立医科大学 胸部・心臓血管外科

3. 『解離性大動脈瘤偽腔破裂に対し真腔への TEVAR で救命した1例』

○多良祐一 1、三和千里 1、吉田幸代 1、瀧本真也 1、谷口尚範 2、富松浩隆 2、上村尚文 2、阪口仁寿 1、

恩賀陽平 1、山中一朗 1

1) 天理よろづ相談所病院 心臓血管外科

2) 天理よろづ相談所病院 放射線科

4. 『当院における下肢静脈瘤治療の現況と今後の展望』

○今井崇裕

西の京病院 血管外科

～ 休憩 ～

【特別講演】 16:30～17:30

座長：奈良県総合医療センター 心臓血管外科 部長 仁科 健 先生

「治療困難な大動脈疾患に対する血管内治療の拡大 :合併症の予防も含めて」

大分大学医学部 医学科 臨床医学系 放射線医学講座
講師 本郷 哲央 先生

* 当日、会費として 1000 円を頂いております。

* 会の終了後、ささやかではありますが情報交換会をご用意しております。

* 日本医師会生涯教育講座ならびに日本 IVR 学会の認定を受けております。

* 当日は参加頂いた確認の為、ご施設名・ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。ご記帳頂いた内容は、医薬品および医学・薬学に関する情報提供のために利用させて頂く事がございます。

* 日本製薬工業協会は、会員会社が主催ないし共催する講演会等は、演者の講演内容を含めて全て当該会社の責任であり、医療用医薬品プロモーションコードを遵守した上で実施することとしております。ご講演内容につきましては、承認外使用の推奨、他社および他社品の中傷・誹謗とならないよう、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

「 当院における下肢静脈瘤治療の現況と今後の展望 」

西の京病院 血管外科 今井崇裕

抄録

2011 年に下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術が保険適応となり、以後急速に普及した。当院は 2013 年から血管内焼灼術(EVA)を開始した。EVA 導入後, 2013 年 1 月-2017 年 12 月に手術加療を施行した下肢静脈瘤患者 2,760 例(M:966/F:1794, 65.8±13.9 歳)を対象とし, 現況と今後の展望について検討した。

EVA の割合は徐々に増えている。2013 年 329 例中ストリッピング(ST):155 例(47.1%), EVA:174 例(52.9%)。2014 年 475 例中 ST:155 例(32.6%), EVA:320 例(67.4%)。2015 年 705 例中 ST:118 例(16.8%), EVA:587 例(83.2%)。2016 年 749 例中 ST:3 例(1.6%), EVA:820 例(98.4%)。2017 年 823 例中 ST:3 例(0.003%), EVA:820 例(99.997%)と推移している。

今後 Venaseal®, ClariVein®といった加熱による血管変性を行わないデバイスの普及が予想され, 治療法の選択が重要になるとと思われる。